



# 実践！ CMM導入徹底ガイド

CMMは、カーネギー・メロン大学のソフトウェア工学研究所（SEI）が開発した、組織の成熟度を測定するモデルです。開発組織の能力を判定し、向上させるための有効な選択肢として、近年はアジア諸国でも広く取り入れられています。本特集では、CMMの基礎知識を解説するとともに、実際の導入事例を実践形式で紹介します。

橋本 隆成  
*Takanari HASHIMOTO*

科学的なソフトウェア開発アプローチを推進する部署に在籍。オブジェクト指向技術、テスト技法、CASE Tool導入の社内推進業務および、CMMによる品質改善業務を担当。



## CMM in Practice

第1章	CMM準備編	00
	能力成熟度モデルの基礎知識	
第2章	SPI活動入門編	00
	ソフトウェアプロセス改善活動の戦略と基盤	
第3章	SPI活動実践編	00
	CMMによるSPI活動事例	